

## 第8期 事業報告書

令和7年（2025年）1月1日～令和7年12月31日

公益財団法人 三菱ガス化学記念財団

## はじめに

当財団は平成30年(2018年)9月7日に一般財団法人として設立され、定款に定める事業の目的に沿ってアセアン留学生に対して奨学金給付事業を開始し、令和2年(2020年)1月1日に『公益財団法人 三菱ガス化学記念財団』に移行し、現在に至っています。

## 事業の目的

当財団は、化学、化学工学等の分野の研究を志す有為な人材への支援と同分野の研究に対する助成を通じて、直面する社会問題を解決し、持続可能な社会を実現するための一助となすことを目的とします。

## 第8期事業報告

第8期(令和7年)は、当財団の本旨に則り、以下の事業を実施しました。

### I. 奨学金給付事業の報告

化学、化学工学分野等で大学、大学院に在学する留学生、特にアセアン加盟国からの留学生に対する奨学金の給付を行いました。

#### 1. 事業の報告

第8期春募集では、指定人数に達している東北大学を除く8大学への募集を行い、大阪大学、京都大学、筑波大学、東京科学大学から新規学生4名と筑波大学から継続学生1名を選考委員会にて選考の上、6月の理事会で計5名の奨学生採用を承認し、新規学生は遡って令和7年4月から、継続学生は9月の卒業を条件に10月から継続して奨学金の給付を決定しました。

第8期秋募集では、指定人数に達している京都大学、東北大学を除く7大学へ募集を行い、早稲田大学から新規学生1名を選考委員会にて選考の上、11月の理事会で奨学生採用を承認し、新規学生は遡って令和7年10月からの奨学金給付を決定しました。

この結果、第8期末時点の奨学生在籍人員並びに当期の奨学金支給総額は下記の通りです。

- ① 奨学生在籍人員 : 13名
- ② 奨学金支給額 : 学士課程 15万円/月、修士課程 18万円/月、博士課程 20万円/月
- ③ 当期奨学金支給総額 : 2,229万円 (1~3月9名、4~9月12名、10~12月13名)

#### 2. 次年度に向けた取組み

第9期令和8年度(2026年)は、名古屋大学を加えた以下の10大学へ募集する予定です。募集人員は、継続募集を含め春募集6名程度、秋募集3名とし、奨学金支給額は前期より学士課程月15万円、修士課程月18万円、博士課程月20万円として募集を計画します。

大阪大学、慶應義塾大学、京都大学、東京科学大学、東京大学、東京理科大学、東北大学、筑波大学、名古屋大学、早稲田大学

### II. 管理運営の状況

#### 1. 財団組織・体制整備

令和2年(2020年)1月1日より公益財団法人へ移行し、利子配当金への課税が免除になるアドバンテージ等に伴い、より公明公平な財団運営が求められるため、規程類を充足して当財団の事業運営を円滑なものとなるよう進めてきました。第8期は、以下をホームページで更新しました。

(1) ホームページでの情報開示更新状況

- ① 英語版ウェブサイト作成・掲載
- ② 第8期事業報告書・正味財産増減計算書(決算書)・貸借対照表の掲載
- ③ 第9期事業計画書・正味財産増減予算書の掲載
- ④ 春秋季奨学生募集要項の掲載
- ⑤ 交流活動の掲載
- ⑥ 奨学生証書授与式の掲載

(2) 内閣府の報告および検査

- ① 事業決算報告(令和7年3月25日)
- ② 第9期事業計画書・正味財産増減予算書の提出(令和7年12月2日)

2. 役員等の選任

(1) 評議員、監事の選任

評議員2名、監事1名の辞任に伴い、新たに評議員2名、監事1名を令和7年3月12日開催の定時評議員会で選任しました。更に、評議員1名の辞任に伴い、新たに評議員1名を令和7年11月17日開催の臨時評議員会で選任しました。

(2) 選考委員の選任

2年の任期満了に伴い、令和7年2月14日開催の理事会で選考委員2名を選任しました。

3. 会議の状況

令和7年は、理事会・評議員会はオンライン併用で対面または書面で行いました。11月の理事会は、評議員もオブザーバーで参加しました。

- 理事会 : 2月14日(一部オンライン参加)  
6月12日(書面)  
11月17日(評議員オブザーバー参加)
- 評議員会 : 3月12日(一部オンライン参加)  
11月17日(書面)

4. 選考委員会の状況

奨学生選考委員会はオンラインで行い、奨学生証書授与式は対面で行いました。

春の奨学生選考委員会(6月3日:オンライン開催)、奨学生証書授与式(7月1日)  
秋の奨学生選考委員会(10月24日:オンライン開催)、奨学生証書授与式(12月4日)

5. 交流活動の状況

奨学生同士、財団関係者、OB・OGとの交流を深め更なる公益活動に資するよう交流会

を開催しました。

交流鑑賞会：3月5日（博物館鑑賞、現況報告）

交流見学会：9月10日（研究所見学、現況報告）

交流報告会：12月19日（特別講義、研究報告、現況報告、OB・OG参加）

#### 6. 基本財産の運用

第8期は、前期に当財団設立者である三菱ガス化学株式会社より基本財産として受理した1億2千万円の寄附金を理事会で承認された運用資産取得計画に基づき、当財団と取引のある証券会社等のアドバイスを受けながら、理事長決裁書による決済のもと実施し運用しました。

結果、第8期での運用資産による運用収益は、約51百万円となりました。（詳細は正味財産増減計算書参照）

### 附属明細書

令和7年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、記載すべき事項はありません。

以 上